第3回ショートコースプログラム

日時: 2009年4月23日(木)

場所:慶応大学薬学部(港区芝公園1-5-30)

主題:「新薬開発におけるトランスポーター(膜透過)研究の応用」

4月23日木曜日 9時~12時40分

「トランスポーター研究概論」	······設楽悦久(千葉大)	
「最近の承認審査におけるトランスポーターや膜透過に関する検討事例」		
	············永井尚美(医薬品医療機器総合機構)	
「企業における実践例その一」	·····吉末訓弘(大鵬薬品)	
「企業における実践例その二」	·····水野尚美(田辺三菱)	
「企業における実践例その三」	・・・・・・・・・・・・・・・・田原晴信(協和発酵キリン)	
M A + 1+A - MIC (- A - 1, A - M / 1 - 1)		

総合討論 & 総括 (昼食のお弁当付き)

第23回ワークショッププログラム

日時:2009 年 4 月 23 日(木)、24 日(金) 場所:慶応大学薬学部(港区芝公園1 - 5 - 30)

主題:「安全な医薬品の創製に向けた ADME-TOX の新局面」

4月23日木曜日 14時~18時

「テーマ1」 'Synergy of DMPK and TOX for Discovery and	d Development of Safe Drug
Learning from the FDA guidance on safety testing of d	rug metabolites - approaches and issues
	·····Scott Grimm(AZ)
An integrated approach to issues at the interface of AD	ME and toxicology in the industry:
A drug metabolism scientist's perspective	·····Ramaswamy Iyer(BMS)
Addressing Metabolic Activation During Pharmaceutic Gaps and Future Directions	al Lead Optimization: Current Approaches,Kaushik Mitra(Merck)
Understanding Risk versus Benefit in Drug Discovery:	a Critical Role for DMPK
全般質問 & 総括	·····Phillip Jeffrey(GSK)
18 時 15 分 ~ 21 時 懇親会(ワークショップ参加者無料)	於 芝パークホテル

4月24日金曜日 9時~17時20分

テーマ2 「探索的臨床試験の新しい動向」

(仮:ランチオン・セミナーを企画中)

テーマ3 「ADME-TOX連携の新局面」

最新情報は、学会のホームページ http://www.jssx.org/をご覧ください。 参加ご希望の方は、学会ホームページから申し込んでください。オンライン登録を行います。

最終締切: 2009 年 2 月 27 日(金)(申込開始: 2009 年 1 月 7 日(水)予定)

会場の定員内であれば、開催日当日の参加を受け付けます(当日の参加が可能であるかどうかについては学会のホームページでお知らせいたします)。当日参加を申し込まれる方は、受付にて参加申込用紙に該当事項を記入の上、参加費をお支払い下さい。参加証および要旨集をお渡しいたします

参加費:

【ワークショップ】

会員 12,000 円(当日 17,000 円),非会員 20,000 円(当日 25,000 円),学生 5,000 円(当日 6,000 円) 【ショートコース】

会員 18,000 円(当日 23,000 円),非会員 28,000 円(当日 33,000 円),学生 7,000 円(当日 9,000 円)

なお、ワークショップとショートコース両方に同時参加登録された方には以下の割り引きがあります。 会員 27,000 円(当日 36,000 円),非会員 40,000 円(当日 50,000 円),学生 8,000 円(当日 10,000 円) 「会員」とは日本薬物動態学会会員以外に、日本トキシコロジー学会会員を含みます。

連絡先: 〒160 - 0016

東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 財団法人 国際医学情報センター内 日本薬物動態学会第 23 回ワークショップ/第 3 回ショートコース登録事務局

TEL:03 - 5361 - 7370 FAX:03 - 5361 - 7091 E-MAIL:jssx-ws@imic.or.jp あるいはjssx@imic.or.jp

担当:西澤展美